

横浜市保育所等利用保留児童実態調査
報告書

平成 28 年7月

横浜市

【調査概要】

(1) 調査の目的

横浜市では平成 22 年度から、4 月の利用調整で認可保育所等を利用できなかった方を対象にその後の保護者の就労状況や子どもの保育形態等を把握、今後の保育行政の方向性と待機児童解消を目的とした子育て支援事業を検討する際の参考とするため、「保育所等利用保留児童実態調査（※）」を実施しています。

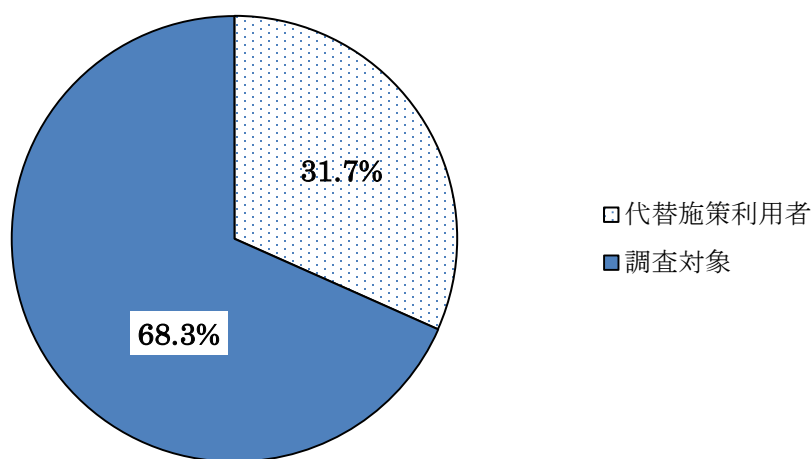
また調査等により、現在の意向を確認した上で、認可保育所等以外の利用可能な保育サービスが見つかった場合には、できる限り利用に結び付けることができるよう丁寧な保育サービスのご案内を、区役所を中心に行っています。

(2) 調査の概要

■調査地域：横浜市全域

■調査対象：平成 28 年 4 月 1 日時点で保育所等を利用できずに保留児童となられた方

※平成 28 年 4 月 1 日時点で保育所等を利用できずに保留児童となられた方（3,117 人）から 4 月 1 日時点で横浜保育室・一時保育・幼稚園預かり保育・事業所内保育所、年度限定保育事業等の利用が確認できた方（987 人）を除いた、2,130 人が対象者です。



■調査対象人数：2,130人

※区別内訳

	調査対象人数(人)
鶴見区	220
神奈川区	216
西区	83
中区	81
南区	109
港南区	79
保土ヶ谷区	97
旭区	94
磯子区	139
金沢区	49
港北区	298
緑区	92
青葉区	135
都筑区	98
戸塚区	194
栄区	51
泉区	54
瀬谷区	41
合計	2,130

■調査方法

保育・教育コンシェルジュによる電話での聞き取り調査もしくは郵送等によるアンケート調査
※質問項目は、電話による調査、郵送による調査でいずれも同じ

■実施期間

平成28年5月13日～平成28年5月31日

※平成28年5月1日時点の状況について調査を実施

■回答数

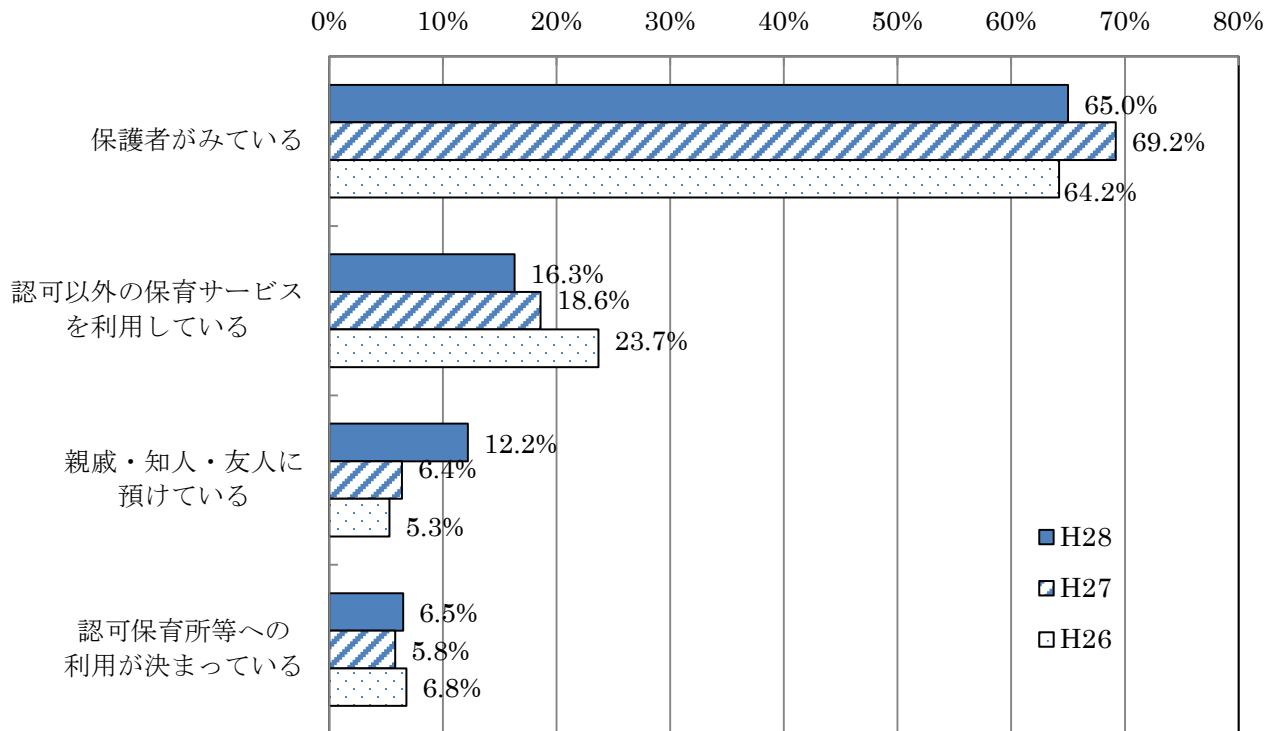
1,978人／2,130人（回答率92.9%）

【調査結果】

1. 5月1日時点の保育状況（複数回答可）

【平成26年度から平成28年度までの状況】

保育状況	H26	H27	H28
保護者がみている	769人	1,019人	1,325人
認可外の保育サービスを利用している	284人	275人	332人
保護者以外の祖父母、親戚、知人に預けている	63人	94人	248人
認可保育所等の利用が決まっている	81人	85人	133人
計	1,179人	1,473人	2,038人



2. 「保護者がみている」1,325人の内訳

① 状況別内訳

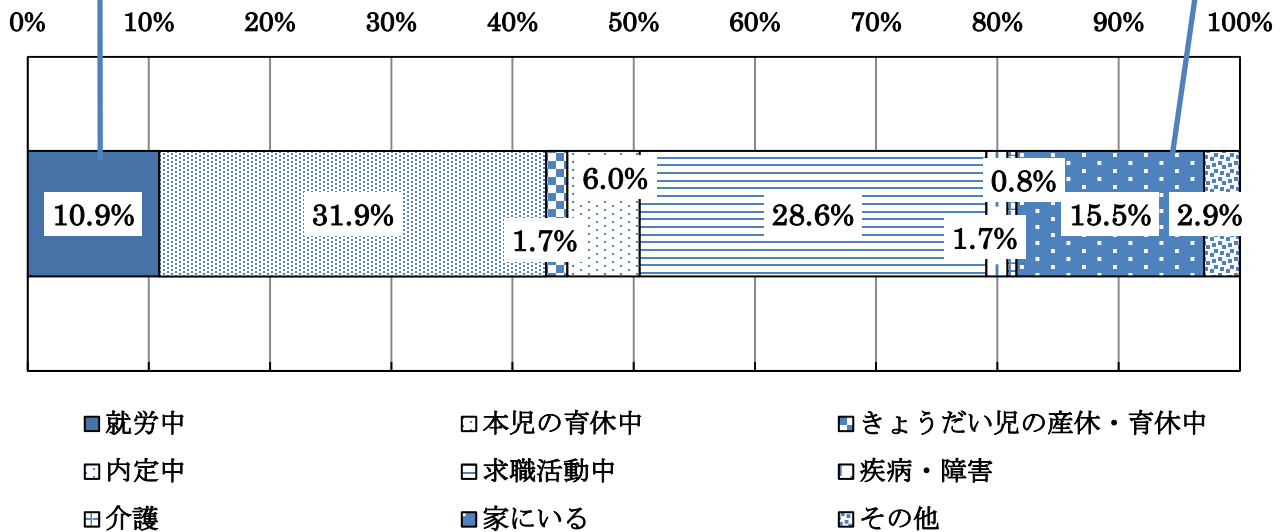
- 1位 「本児の育児休業中」 31.9% (423人)
- 2位 「求職活動中」 28.6% (379人)
- 3位 「家にいる」 15.5% (205人)

「就労中」の内訳

- 就労しながらみている 8.8%
- 就労形態を変更してみている 2.1%

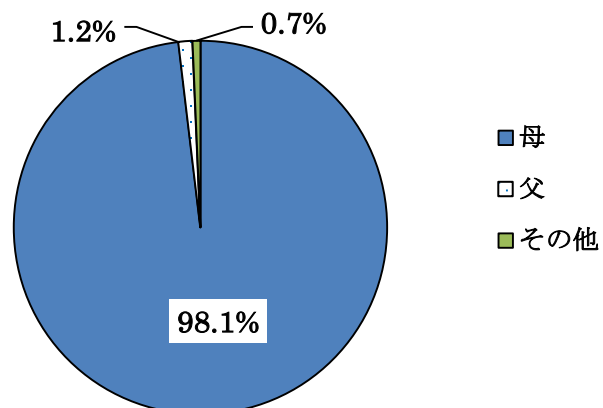
「家にいる」の内訳

- 仕事を辞めて家にいる 2.8%
- 求職活動をやめて家にいる 12.7%



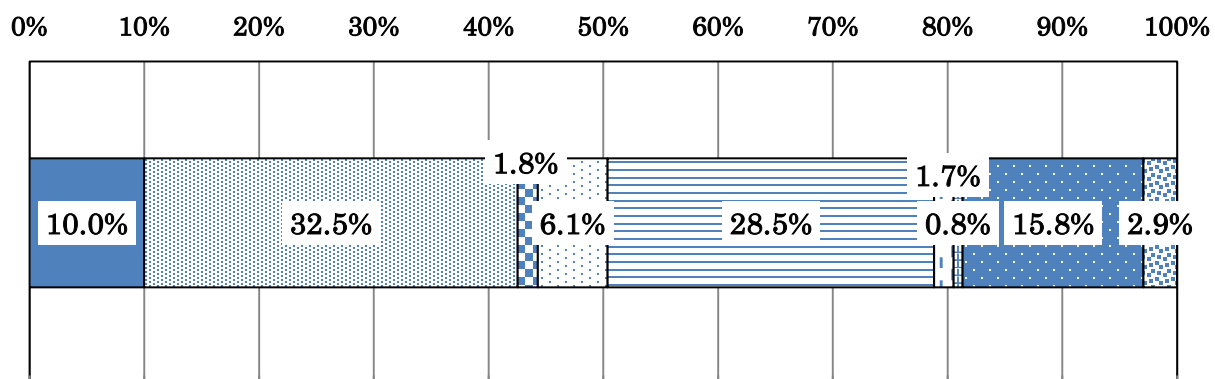
② 保護者の内訳

- 母親がみている 98.1% (1,300人)
- 父親がみている 1.2% (16人)
- その他 0.7% (9人)



【参考 母（1,300人）の内訳】

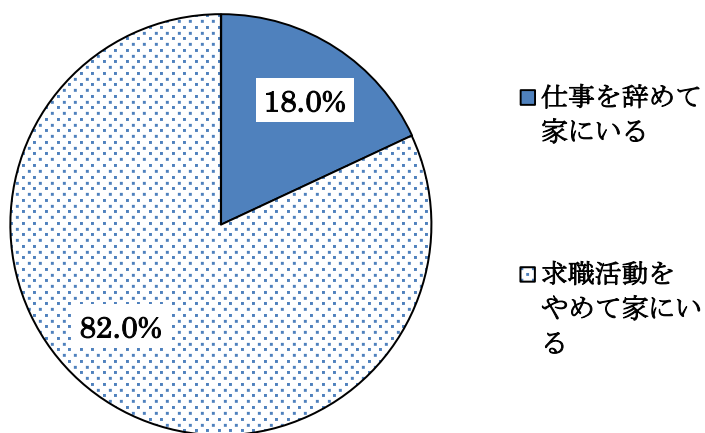
- 1位「本児の育児休業中」 32.5%（423人）
- 2位「求職活動中」 28.5%（370人）
- 3位「家にいる」 15.8%（205人）



- 就労中
- 本児の育休中
- きょうだい児の産休・育休中
- 内定中
- 求職活動中
- 疾病・障害
- 介護
- 家にいる
- その他

「家にいる」205人の内訳

- 「仕事を辞めて家にいる」 18.0%（37人）
- 「求職活動をやめて家にいる」 82.0%（168人）



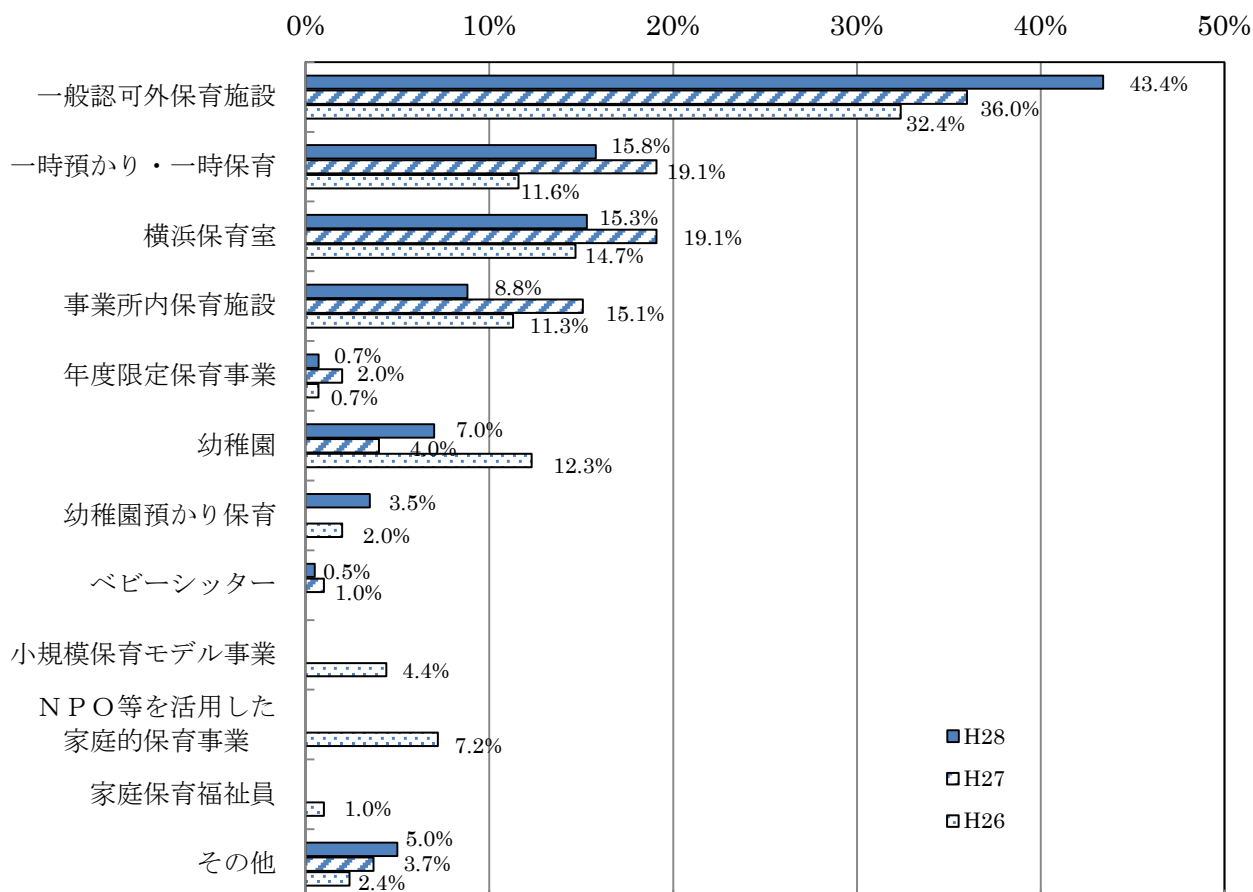
3. 「認可以外の保育サービスを利用している」332人の状況（複数回答可）

- 1位「一般認可外保育施設」 43.4%（173人）
 2位「一時預かり・一時保育」 15.8%（63人）

【平成26年度から平成28年度までの状況】

保育サービス	H26	H27	H28
一般認可外保育施設	95人	108人	173人
横浜保育室	43人	57人	61人
一時預かり・一時保育	34人	57人	63人
事業所内保育（地域枠を除く）	33人	45人	35人
年度限定型保育事業	2人	6人	3人
幼稚園	36人	12人	28人
幼稚園預かり保育	6人	0人	14人
ベビーシッター	0人	3人	2人
ベビーホテル	0人	0人	0人
小規模保育モデル事業（※1）	13人	—	—
NPO等を活用した家庭的保育事業（※2）	21人	—	—
家庭保育福祉員（※2）	3人	—	—
その他	7人	11人	20人
計	293人	299人	399人

（※1）平成26年度のみ項目 （※2）平成26年度のみ項目



平成28年度保育所等利用保留児童実態調査 調査票

設問の該当するところに「○」もしくは記述をしていただき、同封の封筒にてご返送ください。

I 平成28年5月1日時点のお子さまの保育状況について①～⑤の該当する項目ひとつに「○」をお願いします。

チェック欄	項目	
①	保護者がみている	
②	保護者以外の祖父母、親戚、知人に預けている	
③	認可保育所等以外の保育サービスを利用している(複数回答可)	
	<input type="checkbox"/> ア 横浜保育室	<input type="checkbox"/> カ その他認可外保育施設
	<input type="checkbox"/> イ 一時預かり・一時保育	<input type="checkbox"/> キ ベビーシッター
	<input type="checkbox"/> ウ 新設園4・5歳児室を活用した年度限定	<input type="checkbox"/> ク 幼稚園
	<input type="checkbox"/> エ 事業所(企業)内保育施設(地域枠除く)	<input type="checkbox"/> ケ 幼稚園預かり保育
	<input type="checkbox"/> オ ベビーホテル	<input type="checkbox"/> コ その他
④	その他()	

II Iで①を選択された方におたずねします。

お子さまを主にみている保護者の方の状況について、該当する項目ひとつに「○」をお願いします。

	チェック欄 ※該当する保護者の欄にチェック してください			項目
	父	母	その他	
①				仕事をしながらみている(職場へ連れて行く、自営業、内職等)
②				保護者の就業形態を変更(勤務日数や勤務時間を変更)し、こどもをみている
③				育児休業中(平成 年 月まで)
④				育児休業を延長してこどもをみている (平成 年 月→平成 年 月へ変更)
⑤				きょうだい児の産休・育児休業中
⑥				仕事が内定している
⑦				求職活動中(仕事を探している)
⑧				大学や職業訓練校、専門学校等に通っている
⑨				産前産後休暇中
⑩				病気や障害がある
⑪				家庭内の親族を常に介護している
⑫				仕事を辞めて家にいる
⑬				求職活動を辞めて家にいる

III 28年度中の「認可保育所」への意向についてお聞かせください。

チェック欄	項目
①	利用意向は変わらない
②	今年度は利用申請を取下げる

保育サービスの充実に向けて、ご要望等がございましたら、ご記入ください。

お子さまの氏名:

(生年月日:平成 年 月 日)

ご協力いただき、ありがとうございました。